

大学名 北海道大学

第62号テーマ
「DX: デジタルトランスフォーメーション」

表題 未来戦略本部を立ち上げ、喫緊の課題へ 働き方DX・教育DX・研究DX で挑む。

1. 背景と概要

大学を取り巻く喫緊の課題に迅速かつ柔軟に対応するため、北海道大学未来戦略本部を立ち上げ、課題ごとの部会のうち、働き方改革を踏まえた業務のデジタル化を検討するDX検討部会（事務業務（働き方）・教育・研究3つのタスクフォース）を中心に企画立案を進めている。

2. 特色ある取り組み

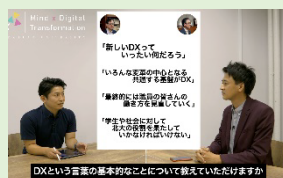
トップ自ら意識改革を発信 働き方

「DXとは何か」を理解し、組織全体でDXによる働き方の改善を受け入れ推進していく素地づくりを目的とし、オンデマンド研修を職員向けに実施した。



自らも働き方DXを目指す資金総長

DX検討部会長を務める山本理事



未来戦略本部DX検討部会事務業務（働き方）タスクフォースDX研修チームによる講座

デジタル・シームレス学習環境構築へ着手 教育

- ・オープン教材を活用したデジタル・シームレス学習環境整備。
- ・学術的知見・蓄積からハイブリッド型教育の手法確立。
- ・地域へ開かれた教育プラットフォーム構築。



デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン
「OERを活用したデジタル・シームレス学習を普及する先導的学習環境の構築」より

DX教育関連のその他本学採択事業

- ・デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン「教育データを根拠にした学修者本位の教育の実現に向けたLMS機能拡張事業」
- ・次世代研究者挑戦的研究プログラム「Society 5.0を牽引するDX博士人材育成のための研究支援プロジェクト」

研究者ニーズに沿ったDX 研究

本学の研究に関わるニーズ調査を実施し、今後、結果に基づき、データとデジタル技術を活用した「研究活動・研究力」「研究業務・プロセス」「研究に対する文化・風土」の変革・本学の研究力の競争上の優位性を確立することを目指している。



セキュアな研究データ管理基盤・データ駆動型研究基盤の拡充



国立情報学研究所研究データ管理サービスとの連携

3. 期待される効果

変革の中心となる基盤 + 柔軟に対応できる組織 = 社会からの期待に応える